# 令和3年9月定例会 教育長報告

# ◆9月の主な活動

- 8日 中学校英語発表会視察(教育センター)[教育長・委員]
- 9日 教育委員会定例会 (清水庁舎) [教育長・委員]

# ◆10月の主な予定

- 10日 しずおか教師塾 第13期入塾式(清水庁舎)[教育長]
- 19日 教育委員会定例会 (清水庁舎) [教育長・委員]
- 25日 第2回総合教育会議(静岡庁舎)[教育長・委員]

\*9月15日~10月14日 静岡市市議会9月定例会

報告第10号

### 委員の委嘱及び任命について(静岡市図書館協議会)

静岡市図書館協議会委員の委嘱及び任命について専決したので、次のとおり報告する。 令和3年9月9日提出

> 静岡市教育委員会 教育長 赤 堀 文 宣 (教育委員会事務局教育局中央図書館)

記

- 1 報告理由 委員の任期満了に伴う改選により、静岡市図書館協議会委員について、次のと おり委嘱及び任命した。
- 2 根拠法令
- (1) 図書館法第14条、第15条及び第16条
- (2) 静岡市図書館条例第12条
- 3 委嘱及び任命する者 別紙のとおり
- 4 委嘱及び任命日 令和3年9月1日
- 5 委嘱及び任命期間 令和3年9月1日から令和5年8月31日

# 静岡市図書館協議会委員(新)

選出区分	氏 名	職業・役職	在職年数※	委嘱回数
学校教育 関係者	松浦 蒙字	美和小学校長	O	2
社会教育	佐野 明生	清水郷土史研究会 会長	2	2
社会教育 関係者	tho gas c 清 尚子	学校図書館を考える会・静岡 会員	2	2
社会教育 関係者	坪井 元芽	子どもの本を読む会 会員	2	2
社会教育 関係者	望月 育子	音訳ボランティアひびきの会 会長	0	1
家庭教育 関係者	*************************************	麻華こども園 園長	0	1
学識経験者	きょだ たかひろ 豊田 高広	元 御幸町図書館長 元 田原市中央図書館長	2	2
学識経験者	那珂 定	常葉大学 生涯学習学科 准教授	2	2
市民委員	うえすぎ ちょせ <u>上杉 智世</u>	市民委員	0	1
市民委員	うえの Drase 上野 英房	市民委員	0	1

(令和3年9月1日現在 10名)

※在職年数が1年未満の者は0年と記載

任期:令和3年9月1日~令和5年8月31日

(参考) 静岡市図書館協議会委員(旧)

氏 名	職業・役職	在職年数※	委嘱 回数
松浦 京子	美和小学校長	0	1
えのきど たもっ 榎戸 保	駿河古文書会 理事	2	1
清尚子	学校図書館を考える会静岡	2	1
坪井 元芽	子どもの本を読む会 会員	2	1
橋本 正子	音訳ボランティアふれんど 会長	2	1
望月 ひろみ	静岡市私立保育園長会 理事	4	2
◎那珂 元	常葉大学 生涯学習学科 講師	2	1
○山下 紗織	前 静岡福祉大学 子ども学科 講師	2	1
きょだ たかひろ 豊田 高広	市民委員	2	1
なかやま まゆみ 中山 真弓	市民委員	2	1
	松浦 京子 2000年 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	※	松浦 荒字     美和小学校長     0       被声 保     駿河古文書会 理事     2       清 高字     学校図書館を考える会静岡     2       季井 元弟     子どもの本を読む会 会員     2       藤本 正子     音訳ボランティアふれんど 会長     2       望前 ひろみ     静岡市私立保育園長会 理事     4       ⑥那町 元     常葉大学 生涯学習学科 講師     2       ○ 江下 沙織     前 静岡福祉大学 子ども学科 講師     2       豐苗 富法     市民委員     2

◎…会長

(令和3年8月31日現在 10名)

○…副会長

※在職年数が1年未満の者は0年と記載

任期:令和元年9月1日~令和3年8月31日

その他③

# 令和3年度全国学力・学習状況調査 静岡市全体の結果について

令和3年5月27日に行われた、令和3年度全国学力・学習状況調査の静岡市全体の結果について別紙のとおり報告します。

# 令和3年度全国学力・学習状況調査 静岡市全体の結果

**1 調査日** 令和3年5月27日(木)

#### 2 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況との 比較を通して本市の結果を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図り、学校教 育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。また、学校における児童生徒への学習指導の充 実や学習状況の改善等に役立てる。

### 3 調査を実施した学校・児童生徒数

静岡市	学校数	児童生徒数
小学校6年生	84/84校	5,199人
中学校3年生	43/43校	4,535人

#### 4 調査内容

- (1) 教科に関する調査(国語、算数・数学)
- (2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

#### 5 全体の傾向

- ・静岡市全体の結果については、全国と比べて概ね良好である。
- 小学校の平均正答率は、国語と算数の調査において全国と同等である。
- ・中学校の平均正答率は、国語と数学の調査において全国を上回っている。
- ・学習状況調査については、「自分にはよいところがあると思う」という設問において肯定的 な回答が、小学校では、全国と同等で、中学校では、全国を上回っている。
- ・「教育課程を編成・実施・評価・改善を図るPDCAサイクルを確立している」と回答した 学校の割合が100%であり、全国を上回っている。
- 「指導において、教員が大型提示装置等のICTを活用した授業を行った回数」は、前回と比べて大きく増加している。

## 6 学力向上に向けた今後の取組

- (1) 静岡市教育委員会
  - ・学力向上専門家委員会(9月開催)等により結果分析を行い、教育施策の検証改善を進める。
  - ・調査結果の公表と活用について、全校を対象に通知する。
  - ・調査結果をもとに、静岡型小中一貫教育の取組みに活かす。
  - ・調査結果を活用し、学力向上支援事業(学力向上専門家委員による学校支援)に取り組む。
- (2) 各学校
  - ・校内研修や校内検証改善委員会等において自校の結果を分析し、改善計画を立てる。
  - ・児童生徒へ結果(個票)を返却し、個別指導に役立てる。
  - ・10 月中旬までに自校の分析結果、改善方策を公表し、地域・保護者と成果及び課題を共有し、 連携を図る。
  - ・日常の授業改善を図り、次年度の教育課程編成に反映させる。
  - ・小中一貫グループ校での研修等で調査結果を共有し、小中一貫教育の取組みに活用する。

# 【学力の状況】

- ・小学校では、国語、算数共に全国の平均正答率と同等である。
- ・中学校では、国語、数学共に全国の平均正答率を上回っている。

## 小学校:調査結果概要(平均正答率)(%)

<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>		<u> </u>			
		国 語	算 数		
	静岡市 (公立)	65	70		
令和3年度	静岡県 (公立)	65	70		
	全国 (公立)	64.7	70.2		
	静岡市 (公立)				
令和2年度	静岡県 (公立)	実施していない			
	全国 (公立)				
	静岡市 (公立)	66	67		
平成31年度	静岡県 (公立)	6 5	6 6		
	全国 (公立)	638	3.66		

# 中学校:調査結果概要(平均正答率) (%)

		国 語	数学	英 語		
	静岡市 (公立)	66	59			
令和3年度	静岡県 (公立)	66	59			
	全国 (公立)	64.6	57.2			
	静岡市 (公立)					
令和2年度	静岡県 (公立)	実施していない				
	全国 (公立)					
	静岡市 (公立)	76	62	59		
平成31年度	静岡県 (公立)	7 5	6 2	5 8		
	全国 (公立)	728	598	5 6		

<sup>(</sup>注)上記の表は、文部科学省(※)から提供された数値(市と県の平均正答率は小数点以下を四捨 五入した結果)を示している。

<sup>※</sup>平均正答率については、学力面において、細かい桁における微小な差異は、実質的な違いを示すものではないため、国は小数点以下を四捨五入した整数値で結果を提供することとしている。

## 【学習の状況】

- 1「自分にはよいところがあると思う」と肯定的な回答をした児童の割合は全国と同等で、生徒の割合は全国を上回っている。
- 2「将来の夢や目標をもっている」と回答した児童の割合は全国と同等であり、生徒の割合は全国を下回っている。
- 3「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した児童・生徒の割合は、全国を下回っているが、生徒については前回と比べると増加している。
- 4「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した児童の割合は全国を下回っており、生徒の割合は全国を上回っている。
- 5「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と肯定的に回答した児童・生徒の割合は全国と同等である。

# 児童、生徒質問紙調査の概要()内は全国公立(%)

			小学校6年生		中学校3年生	
N0	内 容	年度	当てはまる	どちらかと いえば当て	当てはまる	どちらかと いえば当て
-			00.4	はまる		
		R 3	36.4 (36.2)	40.8 (40.7)	37.5 (34.5)	40.6 (41.7)
1	  自分にはよいところがあると思う	H31	42.3	41.9	30.7	45.1
1 1	日力にはよいところがめると心	1131	(38.8)	(42.4)	(29.0)	というに対してはまる 40.6 (41.7) 45.1 (45.1) 44.0 (45.1) 27.9 (28.1) 25.8 (25.6) 26.4 (27.1) 43.9 (44.1) 31.8 (35.5) 33.9 (35.5) 33.9 (35.5) 36.3 (29.6) 34.0 (27.0) 16.3
		H30	43.8	43.3	36.2	
		1130	(41.2)	(42.8)	(33.7)	(45.1)
		R 3	59.6 (60.2)	20.5 (20.1)	38.5 (40.5)	
2	  将来の夢や目標をもっている	H31	66.2	18.6	42.8	25.8
	付木の多く自保をもっている 	1131	(65.9)	(17.9)	(44.9)	(25.6)
		H30	68.4	16.9	42.5	
		1100		(16.9)	(45.3)	
		R 3	27.5 (31.2)	46.3 (42.8)	17.1 (19.4)	
	ウェーカハーコマネ レーーがひを レー・・マ		R 3 (68.2) R 3 (31.2) H31 (33.1)	42.5	10.9	
3	家で、自分で計画を立てて勉強をしている	H31	(33.1)	(38.4)	(14.9)	(35.5)
		1100	25.7	40.4	11.3	33.9
		H30	(30.7)	(36.9)	(16.6)	(35.5)
		R 3	23.6	32.0	19.7	33.3
		КЗ	(26.7)	(31.4)	(16.3)	(27.4)
4	  今住んでいる地域の行事に参加している	H31	32.6	34.0	28.0	36.3
4		1131	(37.2)	(30.8)	(21.0)	(29.6)
		H30	33.1	28.0	24.5	
		1100	(35.9)	(26.8)	(18.6)	
		R3	84.7	12.5	79.6	
5	しいじんけ じょか田中心も - マキュッチャット	100	(84.1)	(12.7)	(81.4)	
	いじめは、どんな理由があってもいけないこと	H31	86.3	11.5	76.5	
	だと思う		(85.0)	(12.1)	(78.3)	(16.8)
		H30	87.4	9.4	79.7	15.5
		1130	(85.9)	(10.9)	(80.7)	(14.8)

## 【学校の状況】

- 1「平成31年度の自校の結果を調査対象学年・教科だけでなく学校全体で教育活動を改善する ために活用した」小・中学校の割合は、前回と比べて減少している。
- 2「子どもの姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成・実施・評価・改善を図るPDCAサイクルを確立している」と回答した学校の割合が100%であり、全国を上回っている。
- 3「教職員が、校内外の研修や研修会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映している」 小学校の割合は全国と比べて上回っているが、中学校の割合は全国と比べて下回っている。
- 4「指導において、教員が大型提示装置等の I C T を活用した授業を行った回数」は、前回と比べると大きく増加している。

## 学校質問紙調査の概要()内は全国公立(%)

N0			小学校6年生		中学校3年生	
	内 容	年度	している	どちらか といえば している	している	どちらか といえば している
			よく行った	行った	よく行った	行った
	平成31年度の自校の結果を調査対象学年・教	R 3	15.5 (25.5)	73.8 (66.6)	10.8 (20.3)	81.1 (67.4)
1	科だけでなく学校全体で教育活動を改善するために活用した	H31	42.2 (42.5)	57.8 (54.8)	28.6 (34.5)	71.4 (61.2)
		H30	43.0 (42.7)	54.7 (54.9)	41.9 (34.3)	55.8 (61.8)
	子どもの姿や地域の現状等に関する調査や 各種データ等に基づき、教育課程を編成・実 施・評価・改善を図るPDCAサイクルを確	R 3	46.4 (31.1)	53.6 (62.5)	51.4 (29.8)	48.6 (62.9)
2		H31	54.2 (36.9)	44.6 (58.1)	57.1 (33.9)	40.5 (59.5)
立している	立している	H30	52.3 (34.8)	46.5 (60.1)	51.2 (30.7)	48.8 (62.4)
	教職員が、校内外の研修や研修会に参	R 3	22.6 (21.9)	66.7 (62.7)	18.9 (20.5)	56.8 (64.0)
3	加し、その成果を教育活動に積極的に	H31	34.9 (33.2)	(21.9)     (62.7)     (20.5)     (64.0)       34.9     63.9     14.3     73.8		
	反映している	H30	39.5 (41.0)	59.3 (55.9)	30.2 (32.3)	62.8 (61.6)
			は発出	週1回以上	は猫田	週1回以上
4	指導において、教員が大型提示装置等のICT	はている といえば している といえば している といえば している といえば している といえば している といえば している はく行った 行った よく行った 行った はく行った 行った はく行った 存った にまる になる になる になる になる になる になる になる になる になる にな	40.5 (58.3)	43.2 (29.5)		
	を活用した授業を行った回数(1クラス当たり)	H31		(1) (62.5) (29.8) (62.9) 44.6 (58.1) (33.9) (59.5) 46.5 (58.1) (30.7) (62.4) 6 (60.1) (30.7) (62.4) 6 (62.7) (20.5) (64.0) 6 (61.2) (26.1) (63.8) 7 (55.9) (32.3) (61.6) 8 (32.8) (58.3) (29.5) 8 (43.7) (43.3) (37.5)		
		H30			14.0 (36.2)	37.2 (38.6)